

「国として行うべき研究開発課題」を 検討するための視点

前回の第3回会合におきまして国として実行すべき課題について、以下のような視点が重要であるのご意見を頂いております。

- 起こりつつある産業革命の土壌の醸成（山田委員）
- 日本で優位性を保てる製品の開発（桑原議員、牧野委員）
- 基礎研究による先端技術の保障（桑原議員、平尾委員）
- 製造技術に係わる知的基盤整備（平尾委員）
- 先端技術のプロトタイプ開発（山田委員、大山委員） 等

<第3回会合における意見の抜粋>（敬称略）

【国として行うべき研究開発課題に関するご意見】

- 今まさに産業革命が起ころうとしている現在、起こせるような土壌をつくることが重要。国の製造技術分野での研究開発費総額が 330 億円で、松下の開発投資が年間 5000 億円であることを考えると、この額で国家的にできることは限られているので、個々の技術というより、大元が変わるようなメッセージを発信すべきではないか。土壌をつくることが重要。[山田]
- 中小企業も含む日本全体のシステムとしてやっていける投資を考えることが必要。一方、高付加製品がないと製品を作ろうとしても作れないため、国家レベルのプロジェクトを立ち上げるべき。[牧野]
- 科学技術的な観点から、日本でもできるものを登場させないと日本の製造業は廃れる。日本においても国際競争力があって作れるものを増やしていくことが重要。[桑原]
- 国が基礎研究を行って先端技術を保障しないと欧米に勝てないという意見もある。[桑原]
- 従来の延長技術ではなかなか進まないため基礎研究が必要になる。[平尾]

- 人が物を生産し販売し儲ける、その仕組みがある高い水準・精度で行えるようにし、それが人の介入で失敗しないようなレベルに総合的にもっていく仕組みが必要。また、それを参考にできるような状態を広く整備することをまず初めに国にやっていただきたい。射程距離にあるものは企業が行う。[平尾]
- 資料４－２の製造技術研究開発マップに記載されている課題は、ほとんどが国立の研究所等のテーマでありシーズ指向である。産業界からの要望を出していただきたい。[和田]
- 国として重要なことは、土俵を用意することと、先端技術を開拓すること。[大山]
- 国でしかできないことに絞るべき。国としては限られた予算できっかけをつくるような施策を推進してはどうか。[山田]

その他、製造技術分野の推進戦略策定に関わる全体的なご意見として

- 製造技術の新規性を打ち出す提案（古川委員）
- 国民にわかりやすいメッセージの提案（馬場委員）
- 産業界からの国（学官）に対する研究開発課題の要望
（和田審議官） 等

【製造技術分野の推進戦略策定に関わる全体的なご意見】

- 骨子案は様々な領域を包含しているので異論はないが、表現が以前と同じで新しさがない。新規性を打ち出すよう新しい表現とすることで、他の４分野との関係において、製造技術として特化し国として資金負担をしていこうという考えが出てくる。今のものは必要な技術を全面的にカバーしすぎている。[古川]
- 政策も含めて進め方を検討していくことが重要。皆様からの強いご意見をいただきたい。[和田]
- 米国のナノテクノロジー政策のように、日本でも数値目標を示してかなりの予算をつぎ込んで、絶対日本がやるんだと言えば国民の支持を受けることができる。スポーツナショナリズムと同様に、テクノナショナリズムが必要。世界のトップをとるというようなわかりやすいメッセージが必要。[馬場]
- このプロジェクトの総額 330 億円足らずで日本の生命線たる製造技術分野を守るのは誤っている。機会を見て総枠について大きな声を出していきたい。[馬場]